

都小音研

令和2年12月10日第63巻436号

発行所
東京都小学校音楽教育研究会

事務所
東京都稲城市矢野口3635
稲城市立南山小学校

学び続けることの大切さ

東京都小学校音楽教育研究会
理事長 山根 まどか
(稲城市立南山小学校長)

5月より、前理事長峯岸敦子校長先生が会長になられたのに伴い、後任として、東京都小学校音楽教育研究会理事長を拝命しました。皆様とお会いする機会をもつことが難しい状況が続きますが、諸先輩方からご助言をいただき、会員の皆様と相談しながら、東京都の音楽教育の充実・発展に、努めて参ります。

今年は、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、3月からは、都小音研を開催できませんでした。8月に、ようやく今年度初めての常任理事会を開催するとともに、各種研究会の年間計画の再検討を始めていただき、少しずつ活動できるようになってきました。今まで誰も経験したことのないあの数か月間は、休校中の家庭学習や、学校再開後の音楽の授業について各学校で検討して対応する等、本当に不安な日々を過ごされたことと思います。そのような中、子供たちに少しでも充実した音楽の学びを提供するために情報交換ができればとの願いから、指導の工夫等についてアンケートを実施したところ、多くの先生方から回答をいただき、都小音研のホームページにアップすることができました。また、多摩南ゾーンの先生方は、コロナ後の授業を見据えて、研究を進めてくださいました。

9月以降は、各種研究会が再開し、参加人数の調整、オンラインでの参加の併用、大きな会場に変更する等の開催方法の工夫や、コロナ禍においても授業実践できる内容に変更する等、様々な配慮をしながら実施して下さっています。10月にようやく理事会が開催でき、多数の地区から理事の先生方が参加して下さった時には、胸が熱くなる思いがしました。

音楽科は新型コロナウイルス感染のリスクが高いとされている学習活動が多くあります。だからこそ、皆で知恵を出し合って研究し情報交換に努め、安全に配慮をしながら指導を充実させていくことが大切です。

私は、令和2年3月末から11月末まで放送されていたNHKの朝の連続テレビ小説『エール』に大変元気をもらっていました。この番組は、『オリンピック・マーチ』や全国高等学校野球選手権の歌『栄冠は君に輝く』等、今も人々の心に響き続ける数々の名曲を作曲された古関裕而氏の半生を描いていました。古関氏の父は音楽好きでしたので、家には当時としては珍しい蓄音機があり、レコードの音楽を聴きながら育ちました。また、小学校の時の担任の先生が、唱歌や童謡づくりの楽しさを教えて下さったのがきっかけで、作曲の楽しさに目覚めました。番組を通して、時には人々の気持ちに寄り添い、勇気付け、生活を豊かにしてくれる音楽の素晴らしさと、人の将来の活躍につながるきっかけをつくることのできる教師という職業のやりがい、あらためて実感させてくれました。

音楽活動の楽しさや素晴らしさを子供たちに伝え、感性を育み、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培っていくために、今後も都小音研の会員の皆様で工夫しながら学び続け、指導力を磨いていきましょう。



今年度の研究について

研究部長 前田 しのぶ（豊島区立池袋第三小学校）

令和元年度 全日音研全国大会東京大会の研究を受け継ぎ、多摩南ゾーン（八王子市・調布市・狛江市・府中市・多摩市・稲城市）が掲げた研究主題「見つけよう 深めよう 生かそう 音楽を」。本来ならば、令和3年1月に全都の多くの先生方の前で、子供たちや先生方の姿から、この研究主題の具現化された成果を発表できるはずでした。紙面発表となってからのこの数か月間、多摩南ゾーンの先生方の無念の思いと、しかしながら研究に対する意欲を失うことなくご努力を積み重ねてきた姿に触れ、感謝と尊敬の意を表したいと思います。

大会研究主題に迫るための3つの視点、「1.主体的な学びの視点からの学習過程の工夫」、「2.学びを広げ深める、対話を生かした学習の充実」、「3.学びを生かし、つなげる指導と評価の工夫」は、学習指導要領における授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」に基づき設定されました。これらの視点から授業改善を考えた研究授業や研究演奏の内容が、研究集録に収められています。歌唱の学習を生かし、器楽合奏の表現の工夫へとつなげていく学習。沖縄の音楽のよさを味わいながら、沖縄の五音音階で音楽をつくる学習。鑑賞で学習した内容から音楽づくりの発想を得て組曲をつくる学習。歌詞と曲想から思いを深め、6年間の学習の総まとめとして歌唱表現を工夫し豊かに歌う学習。4本の学習指導案は何度も何度も書き換えながら確立されたものです。研究演奏は予定していたプログラムの内容を掲載しています。

多摩南ゾーンの研究に関わらせていただき、学習指導要領の内容を授業で実現していく多くの糸口を学びました。同時に、従来の授業展開ができない中、音楽科として守るべき不易とは何かを常に考えるようになりました。私たちは研究の歩みを止めてはならないのだと強く思います。

令和2年度 多摩南ゾーン 研究集録作成への道のり

（八王子市・調布市・狛江市・府中市・多摩市・稲城市）

多摩南ゾーン大会推進委員長 黒岡 祐恵（調布市立杉森小学校 指導教諭）

この度、令和2年度多摩南ゾーン研究集録の注文が1000冊程あったと伺いました。

関心をお寄せいただき、ありがとうございました。

私たちは、研究主題「見つけよう 深めよう 生かそう 音楽を」を掲げ、大会に向け平成26年度から準備を始め、今まで取り組んで参りました。学習指導要領改訂、全日音研全国大会東京大会の提案を受け、まず、学習指導要領の目標及び内容の中で「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理された資質・能力を理解し、具体的には授業展開など何を変える必要があるのか、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をどう実践するのか、どのように評価するかなど、不明点を明らかにすることから始まりました。146校の音楽専科150名に意識調査をし、研究の視点を定め、研究を積み重ねました。各市の交流も活発化し理解も進み、開催が一年後に迫ったところで感染症の流行で大会の中止が決定し、研究集録での発表という形を取ることになりました。

今年度は、各市のネットワーク環境の違いに苦勞しつつ、オンライン等の会議に切り替えました。また、文言は膨大なメールのやり取りで細かく検討を重ねました。そんな中、令和2年3月に国立教育政策研究所から出された『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』に対してゾーンとしてどのように捉えるのか、という新たな課題が生じました。学びのつながりを考えるとともに、題材を通して評価するという方針を再確認し、年間指導計画・学習指導案の中に可能な限り反映しました。各市で研究会等も開催できない中での研究集録作成でしたが、都小音研の役員の皆様のお力をお借りし、今できる限りの手を尽くしたものに仕上がりました。

唯一、検証授業が十分にできていません。この集録を皆さんが手にしていただき、マスクをとり、笑顔で子供たちと実践していただける日が早く来ることを心から願っています。

地区紹介

大島町

大島町は東京から約120km南の海上に浮かぶ、伊豆諸島最大の島です。本土に最も近い島であり、東京竹芝港からは、高速ジェット船で1時間45分、調布の飛行場からは25分でアクセスできます。島の中央には活火山である三原山がそびえ立ち、「自然と大地の営みを楽しく学ぶことができる場所」として、2010年には「日本ジオパーク」に認定されました。島の人々は、古くから三原山に畏敬の念を抱き、火山から噴出する炎は『神の火「御神火」』として崇められてきました。このイメージを和太鼓の集団演奏という形式で表現した「御神火太鼓」が伝統芸能の一つにあります。「揃い打ち」と「乱れ打ち」という二種類の打法があり、三原山の噴火をイメージした、スピード感あふれるダイナミックな太鼓の演奏は、様々なイベントで披露されています。

人口約7400人の大島町には、小学校が3校、中学校が3校あり、6校合わせて約450人の児童生徒が学んでいます。町の教育研究部は小中合同で組織されており、今年度は「新学習指導要領をふまえた授業の改善」をテーマに研鑽を積んでいます。小中学校それぞれの授業を見合いながら、9年間の系統性を視野に入れた学習の積み重ねを大事にしています。また、町の連合音楽会も小中合同で行われます。小学生にとって、中学生の歌声を聴ける場はとて貴重であると同時に、多くの人達に演奏を聴いてもらえることで、大きな自信へとつながっています。

町の音楽教員による「リコーダーアンサンブル」が行われるのも特色の一つです。6人で各校を回り、体育館に厚みのあるリコーダーの音色を響かせます。生の演奏を聴く機会が少ない島の子供たちに少しでも多くの機会を、と教員が発案し、引き継がれているイベントの一つです。しかし、今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、中止となってしまいました。コロナ禍で行事や授業内容など悩み多い昨今ですが、小中の連携や情報共有が図りやすい島の特性を生かしながら、児童・生徒の質の高い学びにつながるよう努めています。

庄屋 淑 (大島町・つばき小)

新島村

新島村は東京から南に約150kmに位置し、周囲を黒潮暖流に囲まれており、年平均気温17.5度です。

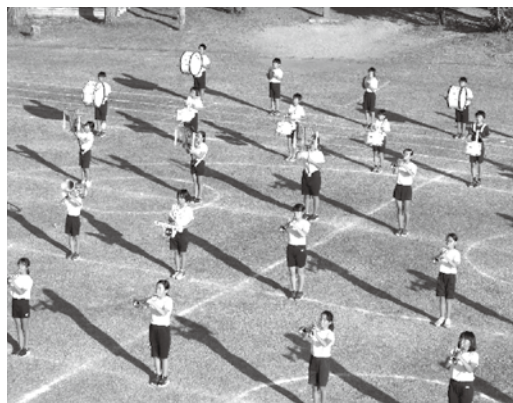
島の主な産業は観光を中心に明日葉、玉ねぎ、アメリカ芋の栽培などの農業、島の特産物としては「コーガ石」「くさや」などが有名です。真鯛やシマアジの養殖を行なっていて、給食にも使われています。

コーガ石(抗火石)はのこぎりで切断できるほど柔らかく、水に浮き、1000度の高温に耐え、耐酸性、防音性、耐震性に優れ、村内では多く活用されています。渋谷にある「モヤイ像」はコーガ石で作られています。また、オリーブ色の美しい発色と光沢が美しい「新島ガラス」の原料ともなります。

新島村の有人島は新島・式根島からなり、二島一村が特徴です。各島には保育園、小学校、中学校が、新島には高等学校があります。新島村では全ての保小中高が連携する「一貫教育」が行われています。そのため、出張で船に乗って隣の島に行くこともあります。

新島小学校伝統のトランペット鼓隊は46代目となりました。3年生の12月から活動を始め、1年生を迎える会、地区音楽会、運動会、村民運動会、鼓隊引継ぎ式、6年生を送る会など、年間を通しての発表を行なっています。運動会ではフォーメーションを組んで演奏しています。今年度はコロナ禍での発表となり、模索しながらの演奏となりました。

浅海 佳代 (新島村・新島小)



都小音研ホームページについて

新型コロナウイルス感染防止に向けた指導の工夫等の調査結果がアップされています。
約250名の先生方からの回答がまとめられています。ご覧いただき、今後の指導にご活用ください。

★都小音研ホームページ

<http://tosyouonken.com> (都小音研でも検索可)

「調査結果のまとめ」パスワード：R2tosyouonken



お知らせ

全国大会・ブロック大会

今年度予定されていた各研究大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。
地区と大会主題のみ紹介いたします。

全日音研全国大会 小・中学校部会大会 群馬大会

第62回 関東音楽教育研究会 群馬大会

第55回 群馬県小・中学校音楽教育研究大会

高崎大会

「心ふれあう 豊かなひびき」

第62回 北海道音楽教育研究大会 札幌大会

「音楽のよさを分かち合い

確かな力を育む音楽教育」

第68回 東北音楽教育研究大会

宮城県仙台地区大会

第56回 宮城県音楽教育研究大会 仙台地区大会

「奏でよう 生きる喜びをつなごう 音楽で」

第62回 近畿音楽教育研究大会 奈良大会

「響DO! (協働) ~感じる 深める 心の音色~」

第51回 中国・四国音楽教育研究大会 岡山大会

「未来につながるわたしと音楽」

第61回 九州音楽教育研究大会

福岡県大会 北九州大会

「心が動き、つながり、広がる、

豊かな音楽の世界」

NHK全国学校音楽コンクール

全てのコンクールが中止となりましたが、以下の
新企画動画がホームページに掲載されています。

・みんなのハモリ場かたり場

学校ごとに投稿された、課題曲を歌った動画
や写真の公開

・Nコン2020スペシャルメドレー

過去の課題曲と今年の課題曲、計11曲のメ
ドレーのリモート合唱

♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈9月理事会〉 9/10 於：八幡小学校

議長：石坂 奈央 (江戸川・清新第一小)

○会長あいさつ

○議 事

- 9・10月の行事予定について
- 令和2年度 多摩南ゾーン大会について
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*調査 *事業 *広報

〈10月理事会〉 10/15 於：八幡小学校

議長：小笠原 薫 (練馬・大泉第六小)

○会長あいさつ

○議 事

- 11月・12月の行事予定について
- 令和2年度 多摩南ゾーン大会について
- 第57回 児童作曲コンクールについて
- 各部より *庶務 *会計 *研究
*調査 *事業 *広報

編集後記

模索の年が暮れようとしています。いつも通りとはいかないまでも、子供たちと学校で直接関わり合えることに改めて感謝。できないことを嘆くより、できることの喜びを共有しながら、前を向いて進んでいきたいものです。

健康第一で穏やかな新年をお迎えください。 (K)

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 峯岸 敦子

編集：広報部

印刷：コウシン 03-3324-9288